

【広島市消費者物価指数】

1 平成 25 年 12 月の動向

- 広島市総合指数（100.3）は前月比で 12 か月ぶりの下落。前年同月比は 6 か月連続の上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数（100.2）は前月比で 3 か月ぶりの下落。前年同月比は 6 か月連続の上昇。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（98.5）は前月比で 2 か月連続の下落。前年同月比は 3 か月連続の上昇。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	100.3	▲0.1	1.6
生鮮食品を除く総合指数	100.2	▲0.2	1.2
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	98.5	▲0.2	0.8

3 前月からの動き

～食料は上昇、被服及び履物は下落。～

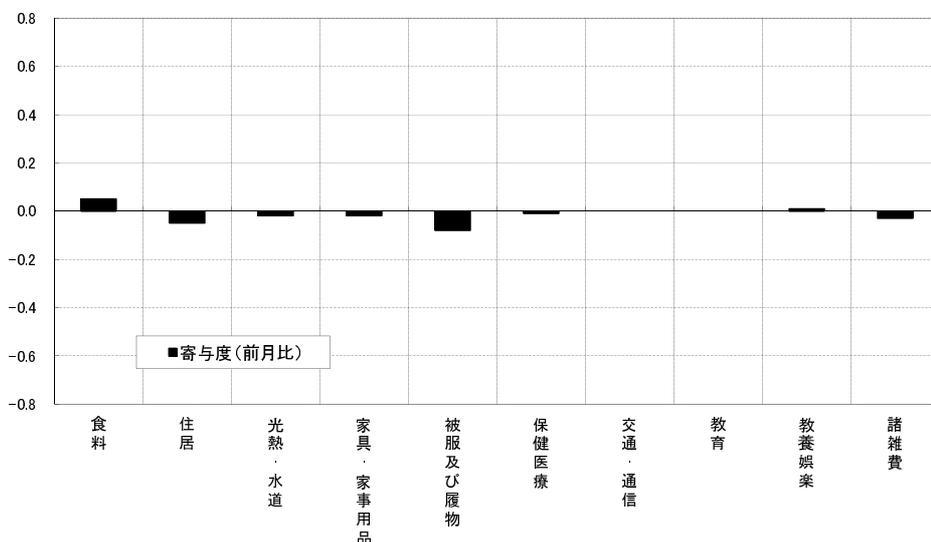
(1) 10 大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	100.3	101.0	98.5	109.0	90.2	104.1	98.3	102.5	98.8	93.4	106.7
前月比 (%)	▲0.1	0.2	▲0.2	▲0.2	▲0.5	▲1.7	▲0.1	0.0	0.0	0.1	▲0.5
寄与度	▲0.1	0.05	▲0.05	▲0.02	▲0.02	▲0.08	▲0.01	0.00	0.00	0.01	▲0.03

(参考) 主な要因となっている 10 大費目について、寄与の大きかった中分類項目

食 料：乳卵類（前月比 3.7%，寄与度 0.04）等
 被服及び履物：洋服（前月比 ▲2.7%，寄与度 ▲0.05）等

図 1 10 大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
乳卵類 (鶏卵 等)	3.7%	家賃 (持家の帰属家賃 等)	▲0.3%
魚介類 (ぶり 等)	1.4%	洋服 (男子コート 等)	▲2.7%
肉類 (牛肉[国産品] 等)	1.4%	野菜・海藻 (トマト 等)	▲1.1%
教養娯楽サービス (外国パック旅行 等)	0.5%	家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	▲1.9%
交通 (航空運賃 等)	0.7%	履物類 (婦人靴 等)	▲4.5%

4 前年同月からの動き

～食料及び交通・通信は上昇、住居は下落。～

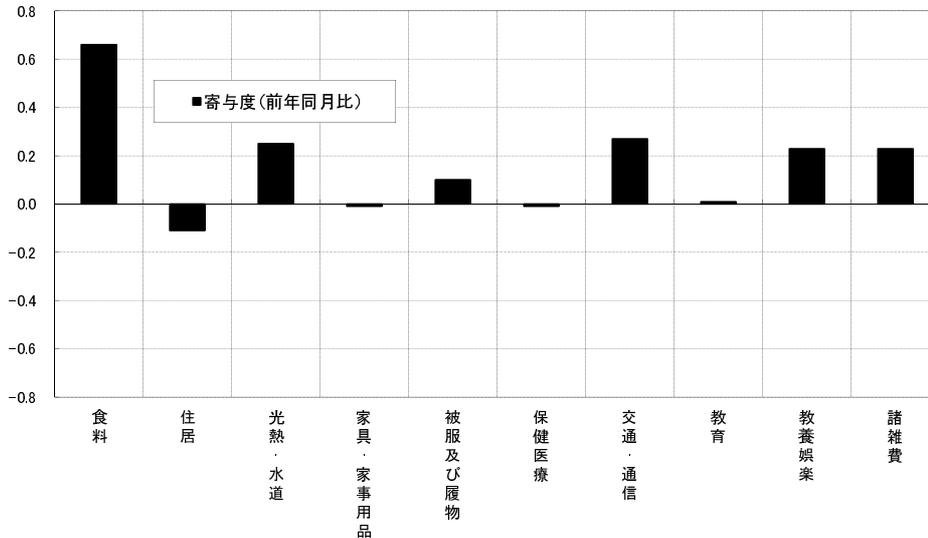
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	1.6	2.6	▲0.6	3.1	▲0.2	2.2	▲0.1	1.9	0.4	2.1	3.6
寄与度	1.6	0.66	▲0.11	0.25	▲0.01	0.10	▲0.01	0.27	0.01	0.23	0.23

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

食 料：野菜・海藻 (前年同月比 11.8%, 寄与度 0.30) 等
 交通・通信：自動車等関係費 (前年同月比 3.2% 寄与度 0.24) 等
 住 居：家 賃 (前年同月比 ▲0.9%, 寄与度 ▲0.15) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
野菜・海藻 (キャベツ 等)	11.8%	家賃 (持家の帰属家賃 等)	▲0.9%
自動車等関係費 (ガソリン 等)	3.2%	穀類 (うるち米 等)	▲2.4%
魚介類 (えび 等)	9.2%	飲料 (炭酸飲料 等)	▲3.0%
教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	13.4%	教養娯楽用品 (ペットフード[キャットフード] 等)	▲1.8%
電気代 (電気代 等)	4.1%	洋服 (男子上着 等)	▲1.0%